

第6回「新スポーツ推進計画（仮称）」策定部会議事要旨

1 日 時

令和2年1月29日（水）14：00～16：00

2 会 場

OKBふれあい会館第1棟4階「404」小会議室

3 出席委員（代理出席2名）

西本裕委員（委員長）、山本英弘委員（副委員長）、日下部光委員、亀山鉄也委員、
坪井朝啓委員、中島洋之委員、林剛史委員、中川雅洋委員、丸山智則委員、浦野善裕委員

4 会議の形態

非公開

5 議 題

- (1) 「新スポーツ推進計画（仮称）」の項目設定について
- (2) 「新スポーツ推進計画（仮称）」の骨子について
- (3) その他意見交換

6 議事要旨

- (1) 「新スポーツ推進計画（仮称）」の項目設定について

【競技スポーツの推進（競技スポーツ課競技スポーツ係）】

○施策目標について担当より説明

○アスリートの競技力向上について担当より説明

（体育健康課）

- ・運動部活動拠点学校（仮称）の設置について具体的に説明いただきたい

（競技スポーツ係）

- ・体育健康課と連携し、「日本一」を実現できる部活動を有している高等学校について環境整備などを検討している

（委員長、体育健康課）

- ・運動部活動拠点学校（仮称）の名称について検討いただきたい

（地域スポーツ係）

- ・総合型地域スポーツクラブと中学校部活動の連携モデル事業を令和2年度から検討している
- ・地域スポーツ課はスポーツ参画人口の拡大、競技スポーツ課は高等学校を拠点とし

た次世代アスリートの発掘・育成に取り組むことが必要

(委員長)

- ・岐阜トップス（仮称）と学校の連携を検討いただきたい

(事務局)

- ・地域スポーツの拠点と運動部活動の拠点について整理いただきたい
- ・強化指定校と運動部活動拠点学校（仮称）の違いについて整理いただきたい

(競技スポーツ係)

- ・運動部活動拠点学校（仮称）は公立学校を対象とし、競技種目を限定して検討する予定
- ・有望選手育成についてのシステムの構築が必要

(委員長)

- ・現行制度にとらわれない新たなシステムや制度の見直し、構築が必要

(体育健康課)

- ・日本一を目指す高校部活動の育成支援が必要

(副委員長)

- ・競技によっては競技者が低年齢化してきている為、次世代アスリートの発掘・育成にかかる強化について検討いただきたい

○競技スポーツを支える指導者の養成について担当より説明

(アスリート発掘・育成係)

- ・(公財)日本スポーツ協会が実施している「ジャパン・ライジング・スタープロジェクト」との連携が必要

(事務局)

- ・トップレベルの指導者の養成、指導者のスキルアップ（資質向上）について項目及び重点ポイントなど検討いただきたい

○競技スポーツを支える組織との連携強化について担当より説明

(委員長)

- ・医科学サポートとの連携について検討いただきたい

【地域スポーツの推進（地域スポーツ課地域スポーツ係）】

○施策目標について担当より説明

(施設整備係)

- ・「地域スポーツ」と「生涯スポーツ」について検討いただきたい

(地域スポーツ係)

- ・上位計画や「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」では、「生涯スポーツ」と記載されている。今後検討が必要

○各ライフステージに応じたスポーツ参加の促進について担当より説明

○スポーツ環境の基盤となる人材の育成と活躍の場の確保について担当より説明
(委員長)

- ・人材の育成では競技スポーツ課との連携が必要
(地域スポーツ係)
- ・中学校部活動を指導できる専門性の高い指導者の育成が必要

【地域スポーツの推進（ねんりんピック推進事務局）】

○施策目標について担当より説明

○各ライフステージに応じたレクリエーションスポーツの普及・推進について担当より説明

(委員長)

- ・「食と健康」「スポーツと健康」「食とスポーツ」を関連付けた講演やイベントを行う
(要検討) は重点ポイントとして必要

○だれもがレクリエーションスポーツに参加できる環境づくりの推進について担当より説明

(事務局)

- ・レクリエーションスポーツイベントの誘致及び開催、レクリエーションスポーツをする場・機会の創出・提供について、項目及び重点ポイントなど検討いただきたい

【学校体育の推進（体育健康課）】

○施策目標について担当より説明

○学校体育における体力の向上について担当より説明

○部活動ガイドラインの具現化について担当より説明

(委員長)

- ・部活動指導員の確保には他課との連携が必要

(事務局)

- ・意欲ある教員が活躍できるシステムの構築が必要

(体育健康課)

- ・トップレベルの指導を必要とする部活動と、魅力ある学校づくりの一役を担う部活動の整理が必要

【障がい者スポーツの推進（障害福祉課）】

○施策目標について担当より説明

(委員長)

- ・健常者と一緒に活動できる項目の設定を検討いただきたい
- ・広報について検討いただきたい

・障がい者が社会の中で活躍できるような項目の設定を検討いただきたい
(副委員長)

・地域スポーツ課との連携が必要

○障がい者スポーツを行う裾野の拡大について担当より説明

○障がい者スポーツを支える環境整備について担当より説明

【障がい者スポーツの推進（競技スポーツ課障がい者スポーツ係）】

○障がい者スポーツについて担当より説明

○施策目標について担当より説明

○障がい者スポーツを支える環境づくりについて担当より説明

○障がい者スポーツの競技力向上について担当より説明

(委員長)

・医科学サポートについて検討いただきたい

【スポーツによる地域振興（地域スポーツ課スポーツ交流係）】

○施策目標について担当より説明

○スポーツによる地域ブランドの確立について担当より説明

○スポーツによる交流人口の拡大について担当より説明

(委員長)

・市町村や各競技団体への働きかけが必要

(スポーツ交流係)

・スポーツイベントの誘致及び開催支援についての検討が必要

(委員長)

・スポーツマネジメント、スポーツ経営等専門家のアドバイスが必要

(事務局)

・次回策定部会に、スポーツマネジメント・スポーツ経営等の専門家に出席いただく
よう調整中

○スポーツによる絆づくりについて担当より説明

【スポーツ施設環境の整備（地域スポーツ課施設整備係）】

○施策目標について担当より説明

○「する」スポーツ施設環境の整備について担当より説明

○「みる」スポーツ施設環境の整備について担当より説明

(2) 「新スポーツ推進計画（仮称）」の骨子について

○計画期間について事務局より説明

案1 5年

案2 8年

(副委員長)

- ・計画期間を8年とし、「第3期スポーツ基本計画」による国の動向により改訂を検討してはどうか

(施設整備係)

- ・計画期間を8年とし、4年で見直してはどうか

○構成について事務局より説明

○基本目標について

(委員長)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック後の取組がイメージできるような基本目標を提案いただきたい

(各係より)

- ・基本目標（案）を提案

○計画推進の考え方について

案1 各ライフステージにおける「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」の3本柱を推進

案2 「清流の国ぎふスポーツ推進計画」を踏襲し、6つの事項を柱として「スポーツ立県・ぎふ」の実現を目指す

(委員長)

- ・「障がい者スポーツの推進」は、柱として残すことが必要と考えるが、「生涯スポーツの推進」「競技スポーツの推進」に含まれるため2本柱で検討してもよい

(障がい者スポーツ係)

- ・案1では「生涯スポーツ」に施策が集中している。柱ごとの施策のバランスを考えると案2がよいのではないか

(体育健康課)

- ・項目を各ライフステージで検討すれば、各課、係の連携がとりやすくなる

【その他】

○今後のスケジュールについて事務局より説明

(以上)